

World Scholar's Cup

八木新之助君 (2018 SA) 花嶋隆成 (2018HA)

What is the World Scholar's Cup?

World Scholar's Cup (略称:WSC) は、アメリカ資本の教材制作会社である Demidec (代表: Daniel Berdichevsky) が企画、運営している大会で、中高生の総合的な教養を競う大会です。

2006年に韓国で始まり、以降世界各国で国内大会が開かれるようになりました。現在では50以上の国で国内大会が開かれており、世界中で2万人近い学生が参加しています。

大会は原則3人1組のチーム、使用言語は英語です。科目数は6教科に及び、年初めに発表される各科目のスタディーガイドに基づいて、各自がリサーチをし、ディベート・エッセイ・ペーパーテスト・クイズの4種目の総得点を競います。各国で行われ国内大会を勝ち越したチームは、世界大会の参加資格を得ることができ、そこで上位に入ったチームは毎年11月にイェール大学で行われる決勝大会に参加することができます。2018年の国際大会は、マレーシアのクアラルンプール、スペインのバルセロナとオーストラリアのメルボルンの3箇所で行われます。昨年は日本からも各大会中高生100人ほど参加し、学校や学年の壁を超えて、“チーム Japan”としての絆を深めることができました。